

第4回田辺市総合計画審議会
会議録

第4回田辺市総合計画審議会会議録

日 時	平成 28 年 12 月 26 日（月）午後 1 時 30 分～午後 2 時 40 分
場 所	田辺市役所 本庁 4 階 第 1 委員会室
出席委員	18 名
欠席委員	12 名
会議事項	1. 開会 2. 議事録署名委員の選出 3. 議事 (1) 基本構想案（中間報告）について (2) 基本計画原案の修正について (3) 基本計画原案「指標及びその目標」の設定について (4) その他 4. 閉会

1. 開会

委員の半数以上の出席を確認、総合計画審議会条例第 5 条第 2 項の規定により、吉村典久会長から審議会の成立を報告。

2. 議事録署名委員の選出

田辺市総合計画審議会運営規則第 7 条第 2 項の規定により、本会議の議事録署名委員として高垣委員、田畑委員を指名。

3. 議事

(1) 基本構想案（中間報告）について（事務局から説明）

【質疑応答】

(A 委員)

基本構想について、指摘がなければこの内容で市民意見を募集するという説明だったと思う。基本構想を再度読み直してみたが、4 ページの真ん中に、分かりやすい計画づくり、簡潔で要点を「抑えた」表現とあるが変換ミスではないか。字引を引いてみると「押さえる」という漢字が正しいようであるので、確認してもらいたい。また、3 ページの下から 9 行目、「人の流れ」とある。「人の流れ」の政策について、説明がなく、分かりにくいので、説明をお願いしたい。

(事務局)

「抑える」という部分については、再度確認の上、訂正させていただきたい。3 ページに記載している「人の流れ」、「しごとづくり」、「出産・結婚・子育て」、「まちづくり」については、昨年 12 月に策定した田辺市まち・ひと・しごと総合戦略の基本目標であり、この一文は総合戦略を指したものである。

(A 委員)

「人の流れ」というのは人が流れるということか。市民は意味が分からないと思う。

(事務局)

「人の流れ」については、新たな人を呼び込むという意味で使用している。総合戦略については、HP 等で公開しているのでご確認いただければ分かりやすいかと思うが、総合計画において総合戦略の内容をそのまま掲載するのも難しいので、簡略化した表現にさせてもらっている。

(2) 基本計画原案の修正について (事務局から説明)

【質疑応答】

(A 委員)

1 ページの 4 番、鳥獣害対策について、かなり良い方向に修正されたと思う。「新たな捕獲手法の導入や研究を進めるほか」とあるが、誰が研究するのか。具体性を示すために、鳥獣害の研究をしている和歌山県果樹試験場に新たな捕獲手法の導入をする等の表現にしたほうが、分かりやすく、具体性があるように思うがどうか。

(事務局)

個別具体的な表現ができるか担当課と協議させていただきたい。

(B 委員)

1 ページの 3 番に、「農業の 10 年先を見据え、新しい発想で田辺に人を呼び込む取組」とあるが、具体的な方策について記載がないので、何かしらの追記をいただきたい。

(事務局)

一言で表すのは難しい部分もあるが、今後も B 委員からの意見をいただく中で、担当課と協議し、研究していきたいと考えている。

(B 委員)

もう一点、2 ページの 11 番に「飲み水に関する記述、また災害における飲み水の確保対策」とあるが、表現がおかしいと思うので、災害時における飲み水の確保等に変更すべき。

(事務局)

今お話をいただいた点は、前回の審議会での指摘内容になる。資料の修正後という欄に記載しているとおり、「災害等に備えた対策に取り組みます」という表現で基本計画原案に記載させていただきたい。今後は修正後の文言でご意見をいただきたい。

(C 委員)

1 ページの 5 番、林業分野について、小規模林家という言葉が入ったのは良かったと思う。「管内の各森林組合を通じて森林経営計画等への参画を積極的に進め」とあるが、森林経営計画を立てられるのは森林組合に限らず、個人でも可能であるため、森林組合という言葉を入れるのが適当なのか疑問に思った。

また、天神崎の自然を大切に作る会という特定の団体名が記載されることに対して、よいのかどうか検討してもらいたい。

(事務局)

1点目、小規模林家に関する項目の表現について、担当課と調整させていただきたい。2点目についても、基本計画全体におけるバランスを考慮した上でどういった表現にするか、事務局で判断したいと思う。

(D 委員)

環境衛生や汚水処理人口普及率とも関係するかもしれないが、海を守るということがどこにも出てきていない。生活環境の文中に海の環境、海という言葉を入れてみてはどうかと思う。海の水を守る、海を守ることを環境の中に入れてもらいたい。

(事務局)

その点についても、一度検討させていただきたい。

(E 委員)

72 ページの7番、飲み水の項目で、水道水の記述はあるが、井戸水についてはどう考えているか。日常生活において使用しているところもあれば、災害時にも活用できると思うが。

(事務局)

災害時の対応について、井戸水の利用も視野に入れた中で、文章表現を考えていきたい。

(F 委員)

ジャンルを超えたところでの連携がどのように表現されるのかお聞きしたい。

(事務局)

基本計画原案の中では、計画推進の項目で連携について記載している。また、基本計画については分野別の構成となっており、各分野において表現することが難しいため、分野横断的な連携については重点プロジェクトへの位置付けも視野に入れながら検討し、次回の審議会重点プロジェクトをお示ししたいと考えている。

(G 委員)

近い将来発生が予想される南海トラフ地震等への対応として、修正後の現状と課題の中に、文里湾横断道路（仮称）のことが記載されている。実際に地震が起きた時、一時的な避難所としては学校や公民館があるが、その後に最も重要となる仮設住宅の用地が田辺市内には余りないように思う。ざっくりした表現で申し訳ないが、市庁舎も移転の問題を抱えている中、仮に移転先が現地の近くであれば、一緒に空き地を仮設住宅用地として確保する等、何らかの考えを文言として入れることができればという提案です。

(事務局)

防災面については、防災まちづくり課において津波避難困難地域解消計画や国土強靱化地域計画等、様々な防災計画が策定されている。こうした個別計画の内容との整合性も図りながら、検討させていただきたい。

(3) 基本計画原案「指標及びその目標」の設定について（事務局から説明）

【質疑応答】

(F 委員)

平成 32 年度の目標が設定されているが、果たして達成できる数値なのか疑問に思う。最低 3 %は向上させるとの目標設定であるが、項目によっては 0.数パーセント上げることすら難しいものもあるのではないか。

生涯学習の項目において、誰もがいつでも気軽に学習できるという文言がある。次のページのスポーツ振興では、誰もが生涯を通じて、となっているが、この項目においても生涯学習のように誰でも、いつでも、気軽にできるといった表現をしてもらえるとありがたい。

スポーツパークの県外からの合宿利用人数について、平成 32 年度の目標数が 32,000 人と大変多いが、現実的な数値なのか。例えば、スポーツパーク宿泊棟のキャパシティはどの程度で、どれくらいの利用があった場合に達成できるといったような試算はあるのか。

(事務局)

まず 1 点目について、3 %向上させようと思うと、市民アンケートの対象者が 67,000 人だったので、単純に考えてもその 3 %、約 2,000 人の意識を改善する必要がある。2,000 人というとほぼ大塔地域の 15 歳以上の方に該当するかと思う。委員のご指摘のとおり、項目によっては厳しいものもあり、事務局も検討する中で現状維持が妥当という項目もありましたが、目標ということもあるので、最初から現状維持を目指すのではなく、多少無理をしている部分はあっても、施策の展開や取組を強化する中で、少しでも目標を達成できるよう取り組みたいと考えている。

2 点目、市民満足度の設問の内容について、平成 22 年度と平成 28 年度に全く同じ文言で市民アンケートを実施しており、次回、平成 32 年度にもアンケートを実施することになると思うが、設問における表現を変えてしまうとその時点でずれが出てしまい、結果への影響も考えられるため、そういった点も踏まえて検討させていただきたい。

3 点目、スポーツパーク宿泊棟のキャパシティについて、この場で把握できていないが、県外からの合宿利用人数については、スポーツパークで宿泊していない方々も含まれている数値のため、その点も踏まえた上での目標設定としている。

(D 委員)

子どもの居場所設置箇所数とは、学童保育所の設置数か。それとも、未就学児も含めた居場所を含めたものか、お聞きしたい。また、19 箇所という目標は、学童保育所を田辺市全域に設置した場合の目標になるのか、お聞きしたい。

(事務局)

現時点での設置箇所数については、小学校 1 年生から 3 年生までを対象とする学童保育所の設置数である。補助事業の関係上、学童保育所という名称にならないかもしれないが、現時点で学童保育所が設置されていない龍神・中辺路・本宮地域においても、今後、子どもの居場所の設置を検討する中で目標を設定しているので、平成 32 年度の目標については学童保育所を含めた子どもの居場所の設置箇所数としている。

(H 委員)

審議会等における女性委員の割合について、H32 年の目標が 30% というのは低いのではないかと思う。審議会によっては達成が難しいものもあると思うが、現状 29.9% という実績なので、目標設定を見直していただけないか。

(事務局)

各種審議会等における女性委員の割合における目標数値については、第二次男女共同参画プランにおいて 30% に設定していることを踏まえ、担当課と協議し、現状維持での目標設定としたものであるが、H 委員からいただいたご意見を踏まえ、男女共同参画プランとの整合性も含めて担当課と協議させていただきたい。

4. 閉会